

# 見るものと見せるもの

長尾豊

一  
學校劇の議論がさかんであつた時、或人が、「劇は看客を必要とする。劇といへばモウ其所に見せるもの、見られるものといふことが先づ豫想される。」

と言つて一部の人達を首肯させたことがある。成程、劇に看客は必要である。けれども學校演出や兒童演出に取つて、看客は必要ではない。看客と見物とかいふ言葉さへ使はない方が好い。演者看者で話を通ずる。互ひに演者となり、看者となつて、創作をしながら一方では鑑賞もし、相互批評も行ふ兒童演出や、劇のある所へ來れば演者も

看者もひとつになつて唱ひ出すやうな組全躰、級全躰學校全躰の演出にあつて、演者看者の區別は甚だ明瞭でない。

もと／＼幼兒の劇的動作といふやうなものは、他に示さうとするためではなさうである。幼兒の畫が誰に見せるためでもなく、又その出たらめ歌が誰に聞かせるためでもなく、自ら描き、自ら唱つてそれで満足してゐる。摸倣擬態等もこれを他に示さうとするよりは先づ自ら姿態にうつし、動作に發表してそれで満足してゐる。相手を要する劇的動作のやうなものになれば、單なる自己發表だけではないかも知れないが、併し特別の見手

を要しないで、仲間同士友達同士の間で一切が處理されるらし。

極端な例になると「お母さんは見ちやいや」とか、「先生は来てはいけません。」とか大人を閉め出してしまふ。看者拒絶の秘密演出もある。さうでないまでもある幼稚園児の劇演出らしいものは、拵へられた面などを冠つて、言葉が相手と噛合はうと、演者同士からだが重ならうと、そばにゐる大人達に聞えようが聞えまいが、分らうが分るまいが、そんな事には一切頓着なく、始まつたかと思ふとモウすぐおしまひになつてしまふ。大膽な看者無視が行はれてゐる。

## 二

演者本位の児童演出にはむしろ此の方がよいと思はれるが、併し、何をやつてゐるのか、口の内でゴチャ／＼言つてゐるうちにおしまひといふものも、さうさか情ない氣がする、幼兒に長い言葉

が覺えられず、むづかしいセリフが言へないことを経験した人達は、唱歌劇といふやうないき方を採つて、劇ではない叙事風な歌詞で筋を運ぶ對話唱歌に走らうとした。その結果劇的でない、動きのすくない、唱つて踊る「見せるもの」に終つてしまつた感がある。

けれどもさういふ児童演出の中から、ほんたうに児童演出の閃きが認められるとしたら、それは歌も言葉もダンスも、指定の動作もない部分で、児童が任意に行動してあらかじめ設けられた創作の機會ではない偶然の機會、見やうによつては脚本そのものの不備ではないかと思はれる個所を、即興的に小さい演者が補充した所である。

「話すよりも唱ふ」といふことは児童演出に取つてそんな重要なことではないらしい。長い言葉を覺えさせ、むづかしいセリフを言はせようとすれば、いきほいそれに代る歌が叙事風な説明的な、

それだから劇的でない歌詞になり、それが節附され、唱はれ、動作を伴ふのであるから、どうしても劇的にはなり惜いわけである。それを強ひて劇のやうに、見せる物化しようとした時、衣裳、背景等が入用になるのはまた當然な事であらう。

お話の内容が分つて、立つて動いて演じて見る劇ごつこのお話あそびでは、お話の内容を立つて喋るのではない、お話の動作化、からだでの話であり、一面から言へば又動く聞き方であるから、言葉よりも動作姿態の量を多分にもつことになる。従つて簡単な言葉だけが發せられ、それが自分の言葉として、いはゆる話ことばとして、生き々と表現される。そして言葉以外のすべてが動作行為によつて現はされる。其所に内からの純眞な演技、理解を通しての動きが生まれる。

### 三

劇が動くものであるといふのは、看者から言へ

ば只見たり聞いたる演者の側から言へば、踊つたり歩いたり、唱つたり話したりするものではなく、劇の内容を動作や言葉によつて現はすといふ謂である。つまり目で見る、面白いものであつて、演者から言へば動くものである。劇は見るものであつて、讀むものでも又聞くものでもない。劇が見るものといふことを言換へれば、それは動くものだといふことになる。動かないものは劇ではない。劇はモオシヨンとエモオシヨンから成るといふのも此の意味で、それであつてこそはじめて兒童のイミテエシヨンとイマヂエシヨンに關係交渉が起り得るわけになる。さうでなければ劇と兒童といふ此の兩者は、風する馬牛も相及ばずといつたやうな遠いものにならう。

兒童演出は見せるものではないから、實演本位公表第一、甚だしきに到ると看者重視の兒童劇や學校劇とは非常に距離のあるもの、全く相反たし

別のものとなるが、ふしぎなことには本來劇が動くもので、看者の側から言へば視覺的な。見るものであるといふことを考へて、動くものとして取扱つていくと、元より見るものであるから、同時に又見せるものとも成り得るのである。

これは實演本位、公表第一、看者重視の見せるものとは自ら違ふもので、演者中心の兒童演出として、副次的に人にも示すこととなる。兒童の演出も「地獄」といはれる入學試験や、又その制度徹廢と同じやうに、子供達だけだつたらば、まざかこんな風でもあるまいと思はれる程、どうも大人がはいるとわるいやうな氣がしてならない。

## 質 問 欄

問 1、幼稚園に於ける生産的方面の教育

2、色カード遊びの方法

(朝鮮の一愛讀者)

答 1、お尋ねの言葉の意味が明きり致しませぬ

からお答へし兼ねますが、今夏の奈良女子高等師範學校の文部省講習に於て森川教授が(幼稚園に於ける生産的方面)といふ題目で講ぜられましたからその聴講者に聞き合せられたい。

2、本誌二十七卷十一月號、卜部氏の「十二月の幼兒生活」の中に詳しく出て居ります。